

上野由岐子(ソフトボール日本代表)の言葉から学びませんか！ ～学校生活にも大切な気づく意識～

*上野選手を知らない人もいると思います。日本ソフトボールのエース。36歳になった今も現役で日本代表。2020東京オリンピックにも出場する選手です。中学校は福岡市の柏原中学校。高校は九州女子高校(現在の若葉高校)出身です。

一流の選手になる上で必要な条件について上野選手はこう言っています。

簡単に言うと目配り、気配り、思いやり、だと言っています。グラウンドの上で一流になるには、ソフトボールだけをやっていればいいのではなく日常生活も一流になる必要があると思います。やはり周りの人や、自分に対して目配りや気配りができないと、試合の大事な場面で大事な事に気づけません。普段から意識を持って「気づき」を敏感にしないと、試合で「ここが勝負どころだ」ということに気づけないで、結果として試合に負けてしまいます。

だから、本当に一流の選手ほど日常から一流の生活をしていると感じています。逆にソフトボールは一流だけど、私生活は二流という選手はいないのです。普段から気のきく選手は、やはりグラウンドでも気がきく、だから一流なんだと思います。このことはチームワークの良し悪しにも関係してきます。ソフトボールに限りませんが、(野球、サッカー、バレーやバスケットなど)もし、一人が調子が悪くても周りがカバーできるスポーツなんです。「今日はこの子は調子悪いな」という事に気づいていれば「じゃあこの部分は私がカバーしよう」と意識する事によって良いカバーができるし、逆に気づかなければ出来ないと思います。そういった思いやりと言うか、目配りをする事でチーム全体が生きてきて強いチームになれると思います。

どうですか、この上野選手の言葉に中学生でも共感する部分はありますか。

私は、思いやりや目配りでクラス全体が生きてきて、安心して生活しやすい、優しいクラスになれると思います。自分の好きな部活を通し、人間として一流になる努力をお互いしていきましょう。中体連夏季総体まで、ちょうど10日です。

残された一日一日の練習で、お互いが気づき・目配り・思いやりを大切にしながら以上にチームワークに磨きをかけて、3年生として最高の結果を残してほしいと思います。

～梅雨本番に突入します～

沖縄はすでに梅雨入り。これから九州全体が梅雨に入ります。

うきはでも田植えが始まる時期になりました。季節の変化を感じる頃になりました。

6月は別名「水無月」と言います。日本は昔から「米作り」農業を中心に文化を築いてきました。「米作り」の中でも、この時期に行う田植えには雨は絶対に欠かせない。それこそいくらあっても足りない状況になる。そこで、田植えをするこの月を「水無月」と言うようになったそうです。苗はたっぷり降る雨水や土の栄養分を吸って育っていく。秋には黄金の稲穂を実らせる。あなた達はどんなふうに育っていきだろう？体はもちろんだが、心も大きく育ってほしいと願っています。

□明日から期末考査です。準備は万全ですか。中間考査ではMy学力向上プランで目標平均点を達成した人が大変少なかったです。今回はどうでしょうか？自分の目標を達成するために、しっかりと学習をしてきたと思います。今の努力が自分の進路実現に大きく影響していくことは分かっていると思います。最後まで、全力で勉強してください。

□令和2年度福岡県高等学校入学者選抜日程

一般入試	3月10日(火)	合格者発表	3月18日(水)
推薦入試	2月6日(木) 7日(金)	合格内定通知	2月13日(木)
補充募集	3月25日(水)	合格者発表	3月27日(金)

